

東京オリンピック(ボート競技)事前合宿などの誘致活動

～世界ボート選手権アメリカ大会を訪問～

東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向けた合宿の誘致活動のため、9月下旬から開催された世界ボート選手権アメリカ大会の会場を訪問し、フランスボート連盟関係者と面談した。その内容についてお知らせする。

1 フランスボート連盟への訪問

(1) 日にち

9月24日(日)

(2) 場所

ネイサン・ベンダーソン・パーク(フロリダ州サラソータ市)

「世界ボート選手権 2017 World Rowing Championships 2017」

(3) 面談の相手方

ア 強化副委員長 パスカル・ブトン氏

イ 女子担当コーチ クリスティン・ゴセ氏

(4) 主な内容

円山川城崎漕艇場のPRを行なうとともに、城崎温泉や城崎国際アートセンターの取組みを紹介し、事前合宿および強化合宿の誘致を行なった。

ア フランスチームは事前(直前)合宿を好まないチームであるが、東京2020に向けてトレーニングはもちろん、日本の文化や気候を事前に知っておくことも必要と感じている。

イ 特に女子チームが強化合宿への関心を持っている。

ウ 合宿実施にあたり、いくつかの不安要素があることから、今後、継続的に情報交換を行い実現の可能性を広げる。

エ 合宿規模は最大選手20人に加えて5人のスタッフ。選手カテゴリーはオリンピッククラス。

オ 円山川のほか、情緒ある城崎温泉、コウノトリの取組みにも強い関心を持っていただいた様子。

カ 来春ごろ、スタッフらに事前視察に来ていただくようお誘いした。

2 日本代表チームの応援

(1) 日にち

9月24日(日)～25日(月)

(2) 内容

今年4月に円山川で強化合宿を実施した日本代表チームの応援を行った。本大会出場の選手12人のうち9人が城崎合宿メンバーである。

ア 24日は、滞在宿舎を訪問しコウノトリ米(パック)、但馬牛そばろ、但馬牛佃煮、誕生の塩を持参して激励。

イ 25日は、会場で日本チームを応援した。

《参考》

日本チームの大会成績（最終日：10月1日）

ア	男子軽量級クオドルプル	日本(決勝進出・第5位)	[フランス(優勝)]
イ	女子軽量級	〃	日本(決勝進出・第6位)
ウ	男子軽量級ダブルスカル	日本(総合第15位)	[フランス(優勝)]
エ	男子シングルスカル	日本(総合第18位)	[フランス(総合第13位)]

3 今後の展開

(1) フランスチーム

- ア 合宿誘致の実現に向けて、今後積極的な情報提供を行う。
- イ まずは、スタッフらの視察団の受入れに向けて調整を図る。
- ウ 滞在費用等の支援も含め、施設の整備やより良い環境整備を検討する。

(2) 日本チーム

春先の強化合宿地として、最適の環境という意見をいただいております、今年度と同様に、継続的に強化合宿を実施していただくよう要望する。

[問合せ]豊岡市地域コミュニティ振興部スポーツ振興課 TEL0796-21-9023